

# 今後の収支予測

- 平成23年度の自場収益は、全国傾向と同様に下落が続いており、今後も減少を見込まざるを得ない。他場収益及び在宅収益については、平成23年度は、東海地区との連携強化（名古屋・笠松競馬場の火曜日重複開催回避）の効果等により、大幅に増加しているが、今後は、これ以上の連携強化による増収は困難である。全国的にも地方競馬全体の売得は減少が続いており、歳入合計では下落傾向が続く厳しい予測となった。
- 平成24年度については、一定の経営努力の下、収支均衡が可能と見込まれ、廃止した場合の必要経費を含めても税金を投入する事態には陥らないと考えられる。
- 今回の収支予測には反映できないものの、今後、JRA勝馬投票券の地方発売開始（平成25春）が予定されているほか、他の地方競馬場の廃止が具体化した場合の他場収益・業務協力金への影響など、経営環境が大幅に変化することも想定され、毎年度、次年度の検証を実施する必要がある。

（単位：百万円）

項 目			H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	備 考		
収支影響額	歳入	①本場収益	見込額 ㉑	1,635	1,581	1,576	1,556	1,522		
			内訳	自場収益	1,215	1,069	1,016	965	917	売得額×24% 5%ダウン（H21～H23年度増減率）
				他場収益	245	289	275	261	248	売得額×9% 5%ダウン（H23年度増減率）
				在宅収益	175	223	245	270	297	売得額×11% 10%アップ（H23年度増減率）
		I-PAT収益	0	0	40	60	60	JRAネット投票会員向け H24.10～ 発売開始		
	②場外発売業務協力金	見込額 ㉒	618	632	613	595	577	3%ダウン（H21～H23年度増減率）		
	小 計		見込額 ㉓=㉑+㉒	2,253	2,213	2,189	2,151	2,099		
	歳出	③大規模施設改修費	見込額 ㉔	0	129	129	129	129	H29まで9億円 年平均129百万円	
		④開催経費 (売得額連動経費を除く)	見込額 ㉕	2,278	2,104	2,054	2,004	2,004	H24▲ 50百万円削減 H25▲ 50百万円削減	
		小 計	見込額 ㉖=㉔+㉕	2,278	2,233	2,183	2,133	2,133		
単年度収支			㉓-㉖	▲25	▲20	6	18	▲34		

年度当初基金残高	A		2,438	2,418	2,424	2,442
単年度収支	B		▲20	6	18	▲34
年度末基金残高	C = A + B	2,438	2,418	2,424	2,442	2,408

廃止した場合の必要経費	リース残高	D		257	138	38	27
	廃止協力金等	E	最大	1,200	1,200	1,200	1,200
			最小	600	600	600	600
合 計		F = D + E	最大	1,457	1,338	1,238	1,227
			最小	857	738	638	627

差引基金残高	C - F	最大	961	1,086	1,204	1,181
		最小	1,561	1,686	1,804	1,781